

組織表を先に作成してください。

12. プログラム担当者の構成		計 35 名	← 自動入力
外国人の人数	1 人	女性の人数	12 人
申請大学・共同実施機関に属する者	32 人	申請大学・共同実施機関以外に属する者	3 人
そのうち、他大学等を経験したことのある者	28 人	そのうち、大学等以外に属する者	2 人

各種人数は直接入力が必要です。

大学、大学共同利用機関以外に属する者の人数を記入してください。

13. プログラム担当者一覧

氏名	フリガナ	年齢	機関名・所属(研究科・専攻等)・職名	現在の専門 学位	役割分担 (平成30年度における役割)
(プログラム責任者) 文部 花子	モンブ ハナコ	66	文部大学大学院AAAA研究科AAAA専攻・研究科長	AA科学 AA博士	事業総括
(プログラムコーディネーター) 文部 次郎	モンブ ジョウ	63	文部大学大学院AAAA研究科AAAA専攻・教授	AA科学 AA博士	各個別プロジェクトの取りまとめ、運営委員会委員長
文部 三郎	モンブ サブロウ	「年齢」、「現在の専門」「学位」、「役割分担」は直接入力が必要です。			
文部 春子	モンブ ハルコ	60	文部大学大学院AAAA研究科AAAA専攻・教授	AA科学 AA博士	AA担当
文部 四郎	モンブ シロウ	59	文部大学大学院AAAA研究科AAAA専攻・教授	AA科学 博士 (AA)	AA担当
文部 五郎	モンブ コロウ	40	文部大学大学院AAAA研究科AAAA専攻・准教授	AA科学 博士 (CC)	AA担当
文部 夏子	モンブ ナツコ	40	文部大学大学院AAAA研究科AAAA専攻・准教授	AA科学 博士 (BB)	AA担当
文部 六郎	モンブ ロクロウ				
文部 七郎	モンブ シチロウ				
文部 八郎	モンブ ハチロウ				
文部 秋子	モンブ アキコ				
文部 九郎	モンブ クロウ				
文部 十郎	モンブ ジュウロウ				
虎ノ門 太郎	トラノモン タロウ	50	文部大学大学院BBBB研究科BBBB専攻・教授	AA科学 博士 (BB)	AA担当
虎ノ門 次郎	トラノモン ジョウ	57	文部大学大学院BBBB研究科AAAA専攻・教授	AA科学 博士 (BB)	AA担当
虎ノ門 春子	トラノモン ハルコ	54	文部大学大学院BBBB研究科AAAA専攻・教授	AA科学 博士 (BB)	AA担当
虎ノ門 三郎	トラノモン サブロウ	50	文部大学大学院BBBB研究科BBBB専攻・教授	AA科学 博士 (BB)	AA担当
虎ノ門 夏子	トラノモン ナツコ	37	文部大学大学院BBBB研究科BBBB専攻・准教授	AA科学 博士 (BB)	AA担当
虎ノ門 四郎	トラノモン シロウ	36	文部大学大学院CCCC研究科AAAA専攻・教授	AA科学 博士 (BB)	AA担当
虎ノ門 秋子	トラノモン アキコ	55	文部大学大学院CCCC研究科AAAA専攻・教授	AA科学 博士 (BB)	AA担当
虎ノ門 冬子	トラノモン フユコ	54	文部大学大学院CCCC研究科BBBB専攻・教授	AA科学 博士 (BB)	AA担当
虎ノ門 五郎	トラノモン コロウ	43	文部大学大学院CCCC研究科BBBB専攻・准教授	AA科学 博士 (BB)	AA担当
文化 太郎	ブンカ タロウ	56	文化大学大学院DDDD研究科AAAA専攻・教授 (文部大学大学院CCCC研究科BBBB専攻・教授H30.9.1就任予定)	AA科学 博士 (BB)	AA担当
科学 次郎	カガク ジョウ	54	科学大学大学院EEEE研究科AAAA専攻・教授	BB科学 博士 (CC)	BBプロジェクトリーダー
科学 三郎	カガク サブロウ	53	科学大学大学院EEEE研究科AAAA専攻・教授	BB科学 博士 (CC)	BB担当

項目12、13については、自動入力の設定が反映されなくなるため、行・列の追加はしないでください(行幅・列幅の改編は可能です)。

プログラム担当者が多い場合は、ページを追加することができます。現在印刷範囲外にある様式を印刷範囲に追加し、他と同様に「組織表」から作成してください。

※印刷範囲が正しく設定されているか確認してください。

※「氏名」、「フリガナ」、「機関名・所属・職名」は組織表から自動入力されますが、特に様式を追加した場合は、正しく転記されているか確認してください。

(機関名：文部大学 フリガナ名称：○○○○○○○○○○○○○○○○)

平成30年度
卓越大学院プログラム 計画調書

1ページに収めてください。

[採択時公表]

(1) プログラムの全体像【1ページ以内】
(申請するプログラムの全体像を1ページ以内で記入してください。)

○○○○…

各項目のタイトル、説明文は改編不可。括弧書きも含めて必ず残してください。

採択された場合、「計画調書」（様式2）（ポンチ絵を含む）は、
採択理由とともに公表する予定です。

「計画調書」（様式2）は採択時に公表するため、他の様式を用いた表現（例「様式○の○ページ参照…」、
「様式○の○ページで後述する…」）は使用しないでください。

ポンチ絵は不要です。

フッターは機関名、プログラム名称を、各ページの欄外下に固定して記入してください。

(2) プログラムの内容【4ページ以内】

(国内外の優秀な学生を、高度な「知のプロフェッショナル」、すなわち、俯瞰力及び独創力並びに高度な専門性を備え、大学や研究機関、民間企業、公的機関等のそれぞれのセクターを牽引する卓越した博士人材へと育成するため、国際的に通用する博士課程前期・後期一貫した質の保証された学位プログラムを構築・展開するカリキュラム及び修了要件等の取組内容を記入してください。また、人材育成上の課題を明確にした上で、その課題解決に向け検証可能かつ明確な目標を、プログラムの目的にふさわしい水準で設定し、さらに、目標の達成のために申請大学全体の大学院システムをどのように変革するかを明確に記入してください。)

○○○○●…

各項目のタイトル、説明文は改編不可。括弧書きも含めて必ず残してください。

「計画調書」(様式2)は採択時に公表するため、他の様式を用いた表現(例「様式○の○ページ参照…」、「様式○の○ページで後述する…」)は使用しないでください。

「計画調書」(様式 2) は採択時に公表するため、他の様式を用いた表現(例「様式〇の〇ページ参照…」、「様式〇の〇ページで後述する…」)は使用しないでください。

「計画調書」(様式 2) は採択時に公表するため、他の様式を用いた表現(例「様式〇の〇ページ参照…」、「様式〇の〇ページで後述する…」)は使用しないでください。

「計画調書」(様式 2) は採択時に公表するため、他の様式を用いた表現(例「様式〇の〇ページ参照…」、「様式〇の〇ページで後述する…」)は使用しないでください。

採択されたプログラムについては、ポンチ絵も含めて公表する予定です。

※プログラムの内容が分かるようにまとめたポンチ絵(1ページ以内)を別途添付してください。
(文字数や行数を考慮する必要はありません。)

(機関名: 文部大学 プログラム名称: ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○)

◎プログラムとして設定する検証可能かつ明確な目標【1 ページ以内】

項目	内容	備考
(例) 〇〇分野の国際学会 における発表者数	平成 30～31 年度 一名 平成 32 年度 〇名／年 平成 33～36 年度 〇名／年	M2 以上の学生に課す〇〇 〇プロジェクトの結果等を 活用し、特に優秀な学生は M2 から成果を発表するこ とを想定。

※適宜行を追加・削除してください。

(3) プログラムの特色、卓越性、優位性【2 ページ以内】

(「最も重視する領域」を中心に、申請するプログラムが国際的な観点から見て有している特色、卓越性、優位性に関して記入してください。)

○○○○…

各項目のタイトル、説明文は改編不可。括弧書きも含めて必ず残してください。

「計画調書」(様式 2) は採択時に公表するため、他の様式を用いた表現(例「様式○の○ページ参照…」、「様式○の○ページで後述する…」)は使用しないでください。

「計画調書」(様式 2) は採択時に公表するため、他の様式を用いた表現 (例「様式〇の〇ページ参照…」、「様式〇の〇ページで後述する…」) は使用しないでください。

採択されたプログラムについては、ポンチ絵も含めて公表する予定です。

※プログラムの特色、卓越性、優位性分かるようにまとめたポンチ絵 (1 ページ以内) を別途添付してください。(文字数や行数を考慮する必要はありません。)

(機関名 : 文部大学 プログラム名称 : ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○)

(4) 学長を中心とした責任あるマネジメント体制【2 ページ以内】

(学長を中心として構築される責任あるマネジメント体制を確保するための取組、大学全体の中長期的な改革構想の中での当該申請の戦略的な位置づけ、高度な「知のプロフェッショナル」を輩出する仕組みの継続性の担保と発展性の見込みについて記入してください。)

○○○○…

各項目のタイトル、説明文は改編不可。括弧書きも含めて必ず残してください。

「計画調書」(様式 2) は採択時に公表するため、他の様式を用いた表現(例「様式○の○ページ参照…」、「様式○の○ページで後述する…」)は使用しないでください。

「計画調書」(様式 2) は採択時に公表するため、他の様式を用いた表現(例「様式〇の〇ページ参照…」、「様式〇の〇ページで後述する…」)は使用しないでください。

ポンチ絵は不要です。

(5) 学位プログラムの継続、発展のための多様な学内外の資源の確保・活用方策【1 ページ以内】
(学位プログラムの継続、発展のための学内外の資源の確保・活用方策について記入してください。)

○○○○…

各項目のタイトル、説明文は改編不可。括弧書きも含めて必ず残してください。

「計画調書」(様式 2) は採択時に公表するため、他の様式を用いた表現(例「様式○の○ページ参照…」、「様式○の○ページで後述する…」)は使用しないでください。

ポンチ絵は不要です。

(6) 個別記載事項その他、プログラム全体を通じての補足説明【4 ページ以内】
(個別記載事項に該当する事項のうち、ここまでの説明では用いられておらず更に説明を要する点や、その他分野の特性等の説明を要する内容について、自由に記述してください。)

○○○○…

各項目のタイトル、説明文は改編不可。括弧書きも含めて必ず残してください。

「計画調書」(様式 2) は採択時に公表するため、他の様式を用いた表現 (例「様式○の○ページ参照…」、「様式○の○ページで後述する…」) は使用しないでください。

「計画調書」(様式 2) は採択時に公表するため、他の様式を用いた表現(例「様式〇の〇ページ参照…」、「様式〇の〇ページで後述する…」)は使用しないでください。

「計画調書」(様式 2) は採択時に公表するため、他の様式を用いた表現(例「様式〇の〇ページ参照…」、「様式〇の〇ページで後述する…」)は使用しないでください。

「計画調書」(様式 2) は採択時に公表するため、他の様式を用いた表現(例「様式〇の〇ページ参照…」、「様式〇の〇ページで後述する…」)は使用しないでください。

ポンチ絵は不要です。

(7) 大学院教育研究に係る既存プログラムとの違い【1 ページ以内】
<プログラム担当者が、大学院教育研究にかかる既存のプログラムを継続実施中の場合のみ記載。それ以外の場合は該当なしと記載。>

(現在国の教育・研究資金により継続実施中である大学院教育研究に係るプログラム(博士課程教育リーディングプログラム、その他研究支援プロジェクト等)に、当該申請のプログラム担当者が関わっている場合(プログラム責任者として複数プログラムに関与している場合を除く)には、当該プログラム及び関与しているプログラム担当者の氏名を明記の上、プログラムの内容、対象となる学生、経費の使用目的等、本プログラムとの違いを明確に説明してください。

特に博士課程教育リーディングプログラムについては、国の補助期間が終了している場合についても、継続されているプログラムとの違いを上記にならい記述してください。)

○○○○○…

各項目のタイトル、説明文は改編不可。括弧書きも含めて必ず残してください。

該当がない場合には空欄にせず、「該当なし」と記載してください。

「計画調書」(様式 2) は採択時に公表するため、他の様式を用いた表現(例「様式○の○ページ参照…」、「様式○の○ページで後述する…」) は使用しないでください。

ポンチ絵は不要です。

平成30年度
 卓越大学院プログラム 教育研究実績・環境等に関する基礎データ

(1) 学位プログラムに関連する専攻の現状

① 関連専攻の入学定員等

「プログラムの基本情報」（様式1）の「8. 学生の所属する専攻等名」に記載した専攻等の各課程の過去3年間の入学定員等について記入してください。大学ごとにページを複製して作成してください。

大学名： 文部大学

様式3「(7) 進路の現状」の修了者数（学位授与者数）との整合性に注意してください。 ※満期退学者は含まない。

研究科・専攻名	課程区分	年度	入学定員	志願者数	入学者数	入学者のうち			修了者数	授与学位分野・名称
						外国人	社会人	自大学の同一分野出身者		
AAAA 研究科 BBBB 専攻	博士課程前期	H29	40	85	45	15	1	0	40	修士 (AA)
		H28	10	0	2	35				
		H27	25	0	0	40				
	博士課程後期	H29	10	0	0	10				博士 (AA)
		H28	5	0	2	15				
AAAA 研究科 BBBB 専攻	博士課程前期	H27	20	50	25	10	0	2	15	
		H29	40	85	45	15	1	0	40	
		H28								
		H27								
		H27								
AAAA 研究科 CCCC 専攻 (H30.4 新設)	博士課程 (一貫制)	H29								博士 (AC)
		H28								
		H27								
BBBB 研究科 AAAA 専攻	博士課程前期	H29	40	85	45	15	1	0	40	修士 (BA)
		H28	40	90	40	10	0	2	35	
	博士課程後期	H27								
		H29								
		H28								
BBBB 研究科 BBBB 専攻	博士課程前期	H29								
		H28								
		H27								
	博士課程後期	H29								
		H28								
CCCC 研究科 AAAA 専攻	博士課程前期	H29								
		H28								
		H27								
	博士課程後期	H29	20	60	15	5	0	2	15	博士 (CA)
		H27	20	50	25	10	0	2	15	

対象となる専攻全てについて、大学ごとに別葉で記入してください。
 本ページを複製する際には、タイトル部分（「平成30年度卓越大学院プログラム 教育研究実績・環境等に関する基礎データ」）は不要です。

対象となる専攻全てについて、修士課程、博士前期課程、博士後期課程、博士課程（4年制）、博士課程（一貫制）等、それぞれの区分ごとに記入してください。

該当する数字が「0」の場合、空欄にせず「0」を記入してください。
 新設等で実績がない場合は斜線を引いてください。
 なお、取組の実績として示すことが有効と判断した場合には、その旨付記の上、旧組織等のデータを記入することも可能です。
 旧組織の実績が改組後の実績と密接に関連しており、今後も同様の実績が予想される場合は、旧組織の実績を含めて構いませんが、新設や組織が改組によって大きく変更された場合は、旧組織の実績は含めないでください。

フッターは機関名、プログラム名称を、各ページの欄外下に固定して記入してください。

CCCC 研究科 BBBB 専攻 (H29.4 新設) ※1	博士課程前期	H29	40	85	45	15	1	0	40	修士 (CB)
		H28	40	90	40	10	0	2	35	
		H27	40	80	35	25	0	0	40	
	博士課程後期	H29	20	50	25	10	0	0	10	博士 (CB)
		H28	20	60	15	5	0	2	15	
		H27	20	50	25	10	0	2	15	

※1 旧組織名 : CCCC 研究科 CCCC 専攻、DDDD 専攻
 ※関連専攻が多く欄が不足する場合や課程区分の欄が余る場合は、適宜行を追加・削除してください。

該当する数字が「0」の場合、空欄にせず「0」を記入してください。

新設等で実績がない場合は斜線を引いてください。

なお、取組の実績として示すことが有効と判断した場合には、その旨付記の上、旧組織等のデータを記入することも可能です。

旧組織の実績が改組後の実績と密接に関連しており、今後も同様の実績が予想される場合は、旧組織の実績を含めて構いませんが、新設や組織が改組によって大きく変更された場合は、旧組織の実績は含めないでください。

(1) 学位プログラムに関連する専攻の現状

① 関連専攻の入学定員等

「プログラムの基本情報」(様式1)の「8. 学生の所属する専攻等名」に記載した専攻等の各課程の過去3年間の入学定員等について記入してください。大学ごとにページを複製して作成してください。

大学名： 科学大学

研究科・専攻名	課程区分	年度	入学定員	志願者数	入学者数	入学者のうち			修了者数	授与学位分野・名称
						外国人	社会人	自大学の同一分野出身者		
EEEE 研究科 AAAA 専攻	博士課程前期	H29	40	85	45	15	1	0	40	修士 (EA)
		H28	40	90	40	10	0	2	35	
		H27	40	80	35	25	0	0	40	
		H29	20	50	25	10	0	0	10	博士 (EA)
EEEE 研究科 BBBB 専攻	博士課程後期	H27	40	80	35	25	0	0	40	修士 (EB)
		H29	20	50	25	10	0	0	10	博士 (EB)
		H28	20	60	15	5	0	2	15	
		H27	20	50	25	10	0	2	15	

対象となる専攻全てについて、大学ごとに別葉で記入してください。
 ページを複製する際には、1ページ目のタイトル部分(「平成30年度卓越大学院プログラム 教育研究実績・環境等に関する基礎データ」)は不要です。

※関連専攻が多く欄が不足する場合や課程区分の欄が余る場合は、適宜行を追加・削除してください。

最も関連の深い小区分及び次に関連の深い小区分に関わる専攻等を指します。

②関連専攻の博士論文名等一覧

「プログラムの基本情報」の「8. 学生の所属する専攻等名」に記載した専攻等のうち、主要区分に関わる専攻等において平成 29 年度に博士学位を授与した学生の博士論文名、主（任）指導教員を記入してください。大学ごとにページを複製して作成してください。

対象となる専攻等全てについて、大学ごとに別葉で記入してください。

大学名： 文部大学

研究科・専攻名	番号	博士論文名	主（任）指導教員
AAAA 研究科 AAAA 専攻	1	○○○○…	○○○○○
	2	○○○○…	○○○○○
	3	○○○○…	○○○○○
	4	○○○○…	○○○○○
	5	○○○○…	○○○○○
	…	○○○○…	○○○○○
AAAA 研究科 BBBB 専攻	1	○○○○…	○○○○○
	2	○○○○…	○○○○○
	3	○○○○…	○○○○○
	4	○○○○…	○○○○○
BBBB 研究科 AAAA 専攻	4	○○○○…	○○○○○
	5	○○○○…	○○○○○
	…	○○○○…	○○○○○
	…	○○○○…	○○○○○
BBBB 研究科 BBBB 専攻	1	○○○○…	○○○○○
	2	○○○○…	○○○○○
	3	○○○○…	○○○○○
	4	○○○○…	○○○○○
	5	○○○○…	○○○○○
	…	○○○○…	○○○○○
CCCC 研究科 AAAA 専攻	1	○○○○…	○○○○○
	2	○○○○…	○○○○○
	3	○○○○…	○○○○○
	4	○○○○…	○○○○○
CCCC 研究科 BBBB 専攻 (H29.4 新設) ※1	5	○○○○…	○○○○○
	…	○○○○…	○○○○○
	…	○○○○…	○○○○○

様式 1 「8. 学生の所属する専攻等名」に記載した専攻等のうち、「5. 主要区分」の「最も関連の深い区分（小区分）」及び「次に関連の深い区分（小区分）」に関わる専攻等における平成 29 年度の修了者分について、省略せずに記載してください。同一専攻の学位授与者の中で、記載する者と記載しない者の別を設けることはできません。

新設等で実績がない場合について、取組の実績として示すことが有効と判断したものは、その旨付記の上、旧組織等のデータを記入することも可能です。
旧組織の実績が改組後の実績と密接に関連しており、今後も同様の実績が予想される場合は、旧組織の実績を含めて構いませんが、新設や組織が改組によって大きく変更された場合は、旧組織の実績は含めないでください。

※1 旧組織名：CCCC 研究科 CCCC 専攻、DDDD 専攻

※関連専攻や論文数が多く欄が足りない場合は、適宜行を追加してください。

②関連専攻の博士論文名等一覧

「プログラムの基本情報」の「8. 学生の所属する専攻等名」に記載した専攻等のうち、主要区分に関わる専攻等において平成 29 年度に博士学位を授与した学生の博士論文名、主（任）指導教員を記入してください。大学ごとにページを複製して作成してください。

大学名： 科学大学

研究科・専攻名	番号	博士論文名	主（任）指導教員
EEEE 研究科 AAAA 専攻	1	○○○○…	○○○○○
	2	○○○○…	○○○○○
	3	対象となる専攻全てについて、大学ごとに別葉で記入してください。 ページを複製して作成してください。	
	4		
	5		
	…	○○○○…	○○○○○
EEEE 研究科 BBBB 専攻	1	○○○○…	○○○○○
	2	○○○○…	○○○○○
	3	○○○○…	○○○○○
	4	○○○○…	○○○○○
	5	○○○○…	○○○○○
	…	○○○○…	○○○○○

※関連専攻や論文数が多く欄が足りない場合は、適宜行を追加してください。

③関連専攻の教員組織

「プログラムの基本情報」(様式1)の「8. 学生の所属する専攻等名」に記載した専攻等の各課程の平成30年5月1日現在の教員組織について記入してください。大学ごとにページを複製して作成してください。

大学名: 文部大学

研究科専攻名	課程区分	教授(名)		准教授(名)		講師(名)		助教(名)		合計(名)	
		専任	兼任	専任	兼任	専任	兼任	専任	兼任	専任	兼任
AAAA 研究科 AAAA 専攻	博士課程前期	15	5	10	3	5	3	10	0	40	10
上記のうち外国人教員											
専任教員のうち他大学等を経験したことのある者		専任: 学校基本調査における「本務者」 兼任: 学校基本調査における「兼務者」									
AAAA 研究科 AAAA 専攻	博士課程後期	5	1	3	2	0	2	2	0	10	5
上記のうち外国人教員											
専任教員のうち他大学等を経験したことのある者		12	—	4	—	4	—	10	—	30	—
AAAA 研究科 BBBB 専攻	博士課程前期	15	5	10	3	5	3	10	0	40	10
上記のうち外国人教員										0	10
専任教員のうち他大学等を経験したことのある者		対象となる専攻全てについて、修士課程、博士前期課程、 博士後期課程、博士課程(4年制)、博士課程(一貫制) 等、それぞれの区分ごとに記入してください。									
AAAA 研究科 BBBB 専攻	博士課程後期	5	1	3	2	0	2	2	0	10	5
上記のうち外国人教員										0	10
専任教員のうち他大学等を経験したことのある者		12	—	4	—	4	—	10	—	30	—
AAAA 研究科 CCCC 専攻	博士課程(一貫制)	15	5	10	3	5	3	10	0	40	10
上記のうち外国人教員		5	1	3	2	0	2	2	0	10	5
専任教員のうち他大学等を経験したことのある者		12	—	4	—	4	—	10	—	30	—
BBBB 研究科 AAAA 専攻	博士課程前期	15	5	10	3	5	3	10	0	40	10
上記のうち外国人教員		5	1	3	2	0	2	2	0	10	5
専任教員のうち他大学等を経験したことのある者		12	—	4	—	4	—	10	—	30	—
BBBB 研究科 AAAA 専攻	博士課程後期	15	5	10	3	5	3	10	0	40	10
上記のうち外国人教員											
専任教員のうち他大学等を経験したことのある者		該当する数字が「0」の場合、空欄にせず「0」を記入してください。									
BBBB 研究科 BBBB 専攻	博士課程前期	12	—	4	—	4	—	10	—	30	—
上記のうち外国人教員											
専任教員のうち他大学等を経験したことのある者		12	—	4	—	4	—	10	—	30	—
BBBB 研究科 BBBB 専攻	博士課程後期	15	5	10	3	5	3	10	0	40	10
上記のうち外国人教員		5	1	3	2	0	2	2	0	10	5
専任教員のうち他大学等を経験したことのある者		12	—	4	—	4	—	10	—	30	—
CCCC 研究科 AAAA 専攻	博士課程前期										
上記のうち外国人教員											
専任教員のうち他大学等を経験したことのある者		「他大学を経験したことのある者」とは、所属大学を除く機関(他の大学、民間企業、研究機関等)で、教育研究活動(学位の取得を含む)の経験を有する場合(非常勤の場合を除く)にカウントしてください。									
CCCC 研究科 AAAA 専攻	博士課程後期										
上記のうち外国人教員											
専任教員のうち他大学等を経験したことのある者											
CCCC 研究科 BBBB 専攻	博士課程前期	15	5	10	3	5	3	10	0	40	10
上記のうち外国人教員		5	1	3	2	0	2	2	0	10	5
専任教員のうち他大学等を経験したことのある者		12	—	4	—	4	—	10	—	30	—
CCCC 研究科 BBBB 専攻	博士課程後期	15	5	10	3	5	3	10	0	40	10
上記のうち外国人教員		5	1	3	2	0	2	2	0	10	5
専任教員のうち他大学等を経験したことのある者		12	—	4	—	4	—	10	—	30	—

※関連専攻が多く欄が足りない場合は、適宜行を追加してください。

③関連専攻の教員組織

「プログラムの基本情報」(様式1)の「8. 学生の所属する専攻等名」に記載した専攻等の各課程の平成30年5月1日現在の教員組織について記入してください。大学ごとにページを複製して作成してください。

大学名：科学大学

研究科専攻名	課程区分	教授(名)		准教授(名)		講師(名)		助教(名)		合計(名)		
		専任	兼任	専任	兼任	専任	兼任	専任	兼任	専任	兼任	
EEEE 研究科 AAAA 専攻	博士課程前期	15	5	10	3	5	3	10	0	40	10	
上記のうち外国人教員		5	1	3	2	0	2	2	0	10	5	
専任教員のうち他大学等を経験したことがある者		対象となる専攻全てについて、大学ごとに別葉で記入してください。 ページを複製して作成してください。										—
EEEE 研究科 AAAA 専攻												10
上記の												5
専任教員のうち他大												—
EEEE 研究科 BBBB 専攻	博士課程前期	15	5	10	3	5	3	10	0	40	10	
上記のうち外国人教員		5	1	3	2	0	2	2	0	10	5	
専任教員のうち他大学等を経験したことがある者		12	—	4	—	4	—	10	—	30	—	
EEEE 研究科 BBBB 専攻	博士課程後期	15	5	10	3	5	3	10	0	40	10	
上記のうち外国人教員		5	1	3	2	0	2	2	0	10	5	
専任教員のうち他大学等を経験したことがある者		12	—	4	—	4	—	10	—	30	—	

※関連専攻が多く欄が足りない場合は、適宜行を追加してください。

(2) 本プログラムの学生受入れ開始(予定)年月日

平成〇〇年〇月〇日受入れ開始予定

(3) 本プログラムの学生受入れ予定人数

各年度における本学位プログラムの在籍予定学生数(括弧内はうち課程の途中から編入を受け入れる予定数を記入してください。)

※「プログラムの基本情報」(様式1)の「7. 授与する博士学位分野・名称」に記載の学位を授与する予定の学生数を記入してください。

	博士前期課程 1年	博士前期課程 2年	博士後期課程 1年	博士後期課程 2年	博士後期課程 3年	計
H30	20 (5)	0 (0)	15 (5)	0 (0)	0 (0)	35 (10)
H31	20 (5)	20 (5)	15 (5)	15 (5)	0 (0)	70 (20)
H32	20 (5)	20 (5)	15 (5)	15 (5)	15 (5)	85 (25)
H33	20 (5)	20 (5)	15 (5)	15 (5)	15 (5)	85 (25)
H34	20 (5)	20 (5)	15 (5)	15 (5)	15 (5)	85 (25)
H35	20 (5)	20 (5)	15 (5)	15 (5)	15 (5)	85 (25)
H36	20 (5)	20 (5)	15 (5)	15 (5)	15 (5)	85 (25)

(4) 本プログラムによる学位授与数(年当たり)の目標

平成〇年度〇名、平成〇年度以降〇名(年当たり)

(5) 経済的支援の現状

「プログラムの基本情報」(様式1)の「8. 学生の所属する専攻等名」に記載した専攻等の各課程において、平成29年度に給付型の経済的支援を受けた者の状況を記入してください。「在籍学生数」及び「経済的支援を受ける者」欄には実数を、各項目別の人数は延べ数を記入してください。大学ごとにページを複製して作成してください。

大学名： 文部大学

様式3「(10) 学生の研究活動の状況」における
在籍者数との整合性に注意してください。

研究科・専攻名	課程区分		在籍 学生 数	経済的 支援を 受ける 者	TAと して採 用され ている 者	RAと して採 用され ている 者	フェロ ーシッ プ・奨 学金	うち	その他	授業料 免除適 用者数	
								日本学 術振興 会特別 研究員 採用者			
		合計	80	25	5	0	0	0	2	5	
		うち、外国人	20	10	0	0	10	0	1	2	
		合計	60								
		うち、外国人	15								
		合計	80								
		うち、外国人	20								
		合計	60	40	15	15	15	5	20	10	
		うち、外国人	15	10	5	5	2	0	2	1	
AAAA 研究科 CCCC 専攻 (H30.4 新設)	博士課程 (一貫制)	合計									
BBBB 研究科 AAAA 専攻	博士課程前期	合計									
	博士課程後期	合計									
BBBB 研究科 BBBB 専攻	博士課程前期	合計									
	博士課程後期	合計									
CCCC 研究科 AAAA 専攻	博士課程前期	合計									
	博士課程後期	合計									
CCCC 研究科 BBBB 専攻	博士課程前期	合計	80	25	5	0	0	0	2	5	
		うち、外国人	20	10	0	0	10	0	1	2	
	博士課程後期	合計	60	40	15	15	15	5	20	10	
		うち、外国人	15	10	5	5	2	0	2	1	

TA、RA、フェローシップ・奨学金、その他、授業料免除適用者については、「経済的支援を受ける者」の内訳
※各項目は延べ数のため、人数は「経済的支援を受ける者」より多くなることもあります。

フェローシップ・奨学金の内数。
フェローシップ・奨学金≧日本学術振興会特別研究員採用者となることに注意してください。

該当する数字が「0」の場合、空欄にせず「0」を記入してください。
新設等で実績がない場合は斜線を引いてください。
なお、取組の実績として示すことが有効と判断した場合には、その旨付記の上、旧組織等のデータを記入することも可能です。
旧組織の実績が改組後の実績と密接に関連しており、今後も同様の実績が予想される場合は、旧組織の実績を含めて構いませんが、新設や組織が改組によって大きく変更された場合は、旧組織の実績は含めないでください。

※関連専攻が多く欄が不足する場合や課程区分の欄が余る場合は、適宜行を追加・削除してください。

対象となる専攻全てについて、修士課程、博士前期課程、博士後期課程、博士課程(4年制)、博士課程(一貫制)等、それぞれの区分ごとに記入してください。

(5) 経済的支援の現状

「プログラムの基本情報」(様式1)の「8. 学生の所属する専攻等名」に記載した専攻等の各課程において、平成29年度に給付型の経済的支援を受けた者の状況を記入してください。「在籍学生数」及び「経済的支援を受ける者」欄には実数を、各項目別の人数は延べ数を記入してください。大学ごとにページを複製して作成してください。

大学名： **科学大学**

研究科・専攻名	課程区分		在籍学生数	経済的支援を受ける者	TAとして採用されている者	RAとして採用されている者	フェロ－シップ・奨学金	うち 日本学術振興会特別 研究員採用者	その他	授業料免除適用者数
EEEE 研究科 AAAA 専攻	博士課程前期	合計	80	25	5	0	0	0	2	5
		うち、外国人	20	10	0	0	10	0	1	2
	博士課程	合計	60	40	15	15	15	5	20	10
EEEE 研究科 BBBB 専攻	博士課程									1
										5
	博士課程後期	合計	60	40	15	15	15	5	20	10
		うち、外国人	15	10	5	5	2	0	2	1

対象となる専攻全てについて、大学ごとに別葉で記入してください。
ページを複製して作成してください。

※関連専攻が多く欄が不足する場合や課程区分の欄が余る場合は、適宜行を追加・削除してください。

(6) 留学生の受入れ、日本人学生の派遣実績

「プログラムの基本情報」(様式1)の「8. 学生の所属する専攻等名」に記載した専攻等の各課程における平成 28、29 年度の留学生受入れ、日本人学生派遣の実績(括弧内は延べ回数)と、平成 29 年度の受入れ・派遣先国・地域の上位 5 力国等の内訳を記入してください。大学ごとにページを複製して作成してください。

大学名: 文部大学

研究科・専攻名	課程区分	留学生受入れ人数		日本人学生派遣人数	
		28 年度	29 年度	28 年度	29 年度
AAAA 研究科 AAAA 専攻	博士課程前期	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
AAAA 研究科 BBBB 専攻	博士課程後期	5 (7)	4 (5)	2 (3)	5 (5)
AAAA 研究科 CCCC 専攻 (H30.4 新設)	博士課程 (一貫制)	/	/	/	/
BBBB 研究科 AAAA 専攻	博士課程前期	8 (8)	10 (10)	0 (0)	1 (1)
	博士課程後期	5 (7)	4 (5)	2 (3)	5 (5)
BBBB 研究科 BBBB 専攻	博士課程前期	8 (8)	10 (10)	0 (0)	1 (1)
	博士課程後期	5 (7)	4 (5)	2 (3)	5 (5)
CCCC 研究科 AAAA 専攻	博士課程前期	8 (8)	10 (10)	0 (0)	1 (1)
	博士課程後期	5 (7)	4 (5)	2 (3)	5 (5)
CCCC 研究科 BBBB 専攻 (H29.4 新設) ※1	博士課程前期	8 (8)	10 (10)	0 (0)	1 (1)
	博士課程後期	5 (7)	4 (5)	2 (3)	5 (5)

対象となる専攻全てについて、修士課程、博士前期課程、博士後期課程、博士課程(4年制)、博士課程(一貫制)等、それぞれの区分ごとに記入してください。

括弧内は延べ回数のため、括弧外≦括弧内となります。

※1 旧組織名: CCCC 研究科 CCCC 専攻、DDDD 専攻

※関連専攻が多く欄が不足する場合や課程区分の欄が余る場合は、適宜行を追加・削除してください。

留学生受入れ (29 年度)			日本人学生派遣 (29 年度)		
順位	受入れ先国・地域	人数	順位	派遣先国・地域	人数
1	中国	20 (20)	1	アメリカ	5 (6)
2	韓国	10 (11)	2	ドイツ	3 (3)
3	アメリカ	5 (5)	3	スイス	2 (2)
4	台湾	3 (4)	4	イギリス	2 (2)
5	フィリピン	2 (2)	5	フランス	1 (1)

括弧内は延べ回数のため、括弧外≦括弧内となります。

該当する数字が「0」の場合、空欄にせず「0」を記入してください。

新設等で実績がない場合は斜線を引いてください。

なお、取組の実績として示すことが有効と判断した場合には、その旨付記の上、旧組織等のデータを記入することも可能です。

旧組織の実績が改組後の実績と密接に関連しており、今後も同様の実績が予想される場合は、旧組織の実績を含めて構いませんが、新設や組織が改組によって大きく変更された場合は、旧組織の実績は含めないでください。

(6) 留学生の受入れ、日本人学生の派遣実績

「プログラムの基本情報」(様式1)の「8. 学生の所属する専攻等名」に記載した専攻等の各課程における平成 28、29 年度の留学生受入れ、日本人学生派遣の実績(括弧内は延べ回数)と、平成 29 年度の受入れ・派遣先国・地域の上位5カ国等の内訳を記入してください。大学ごとにページを複製して作成してください。

大学名: **科学大学**

研究科・専攻名	課程区分	留学生受入れ人数		日本人学生派遣人数	
		28 年度	29 年度	28 年度	29 年度
EEEE 研究科 AAAA 専攻	博士課程前期	5 (5)	5 (5)	5 (5)	5 (5)
EEEE 研究科 BBBB 専攻	博士課程後期	5 (7)	4 (5)	2 (3)	5 (5)

対象となる専攻全てについて、大学ごとに別葉で記入してください。
ページを複製して作成してください。

※関連専攻が多く欄が不足する場合や課程区分の欄が余る場合は、適宜行を追加・削除してください。

留学生受入れ (29 年度)			日本人学生派遣 (29 年度)		
順位	受入れ先国・地域	人数	順位	派遣先国・地域	人数
1	中国	10 (10)	1	アメリカ	6 (7)
2	韓国	5 (6)	2	ドイツ	3 (3)
3	アメリカ	4 (4)	3	スイス	2 (2)
4	台湾	2 (3)	4	イギリス	1 (2)
5	フィリピン	1 (1)	5	フランス	1 (1)

(7) 進路の現状

「プログラムの基本情報」(様式1)の「8. 学生の所属する専攻等名」に記載した専攻等における平成 29 年度修了者の進路状況(平成 30 年 5 月 1 日現在)について、データを集計の上、記入してください。大学ごとにページを複製して作成してください。

大学名: **文部大学**

様式 3 (1) の「①関連専攻の入学定員等」における「修了者数」との整合性に注意してください。

①～⑥の合計数
と一致

区 分	博士課程修了者(満期退学者を除く)		博士課程満期退学者	
	合計	うち、外国人	合計	うち、外国人
修了者数・満期退学者数				
① 進学者数	2	0	0	0
② 就職者数				
大学の教員(助教・講師等)				
公的な研究機関	10	3	3	0
その他公的機関				
②の内訳				
企業(研究開発部門)				
企業(その他の職種)				
ポスドク(同一大学)				
ポスドク(他大学等)				
学校の教員(大学を除く)				
その他				
③ 専修学校・外国の学校等入学者				
④ 一時的な仕事に就いた者				
⑤ ①～④及び⑥以外				
⑥ 死亡・不詳				

博士前期(修士)課程修了者については記載しないでください。

該当する数字が「0」の場合、空欄にせず「0」を記入してください。

社会人学生は「その他」にカウントしてください。

新設等で指定されている期間の新しい組織としてのデータ等がない専攻がある場合は合計値に含めなくてかまいません。ただし、取組の実績として示すことが有効と判断した場合には、その旨付記の上、旧組織等のデータ等を集計に含めることも可能です。

旧組織の実績が改組後の実績と密接に関連しており、今後も同様の実績が予想される場合は、旧組織の実績を含めて構いませんが、新設や組織が改組によって大きく変更された場合は、旧組織の実績は含めないでください。

※CCCC 研究科 BBBB 専攻 (H29.4 新設) の旧組織として CCCC 研究科 CCCC 専攻、DDDD 専攻の実績を含む。

「② 就職者数」欄に記載の主な就職先

※ 海外の大学・機関である場合は、それが分かるように明示してください。

〇〇大学(アメリカ)、(独)△△研究所、(株)××・・・

「④ 一時的な仕事に就いた者」欄に記載の主な就職先

××研究所

「⑤ ①～④及び⑥以外」欄に記載の具体的な内訳

進学準備中 (2人)
就職活動中 (2人)

「⑥ 死亡・不詳」欄の事情、理由

※ 進路を把握できない特別な事情がある場合は記載してください。

本人が海外渡航中のため不詳(確認中)(1人)
学位取得後に帰国したため、その後の進路については不詳(確認中)(1人)

項目の位置を最小限移動することにより、各項目の分量を調整して作成することが可能です。
※項目名、注意書きは削除しないでください。

それぞれ「0」の場合は「該当なし」と記載してください。

(7) 進路の現状

「プログラムの基本情報」(様式1)の「8. 学生の所属する専攻等名」に記載した専攻等における平成 29 年度修了者の進路状況(平成 30 年 5 月 1 日現在)について、データを集計の上、記入してください。大学ごとにページを複製して作成してください。

大学名：科学大学

区 分	博士課程修了者(満期退学者を除く)		博士課程満期退学者		
	合計	うち、外国人	合計	うち、外国人	
修了者数・満期退学者数	30	10	10	0	
① 進学者数	2	2	0	0	
② 就職者数	25	6	8	0	
②の内訳	大学の教員(助教・講師等)	0	0	2	0
	公的な研究機関	5	1	2	0
	その他公的機関	0	0	0	0
	企業(研究開発部門)	5	3	3	0
	企業(その他の職種)	3	0	0	0
	ポスドク(同一大学)	5	1	0	0
	ポスドク(他大学等)	5	1	0	0
	学校の教員(大学を除く)	0	0	1	0
	その他	2	0	0	0
③ 専修学校・外国の学校等入学者	0	0	0	0	
④ 一時的な仕事に就いた者	0	0	1	0	
⑤ ①～④及び⑥以外	2	1	1	0	
⑥ 死亡・不詳	1	1	0	0	

「② 就職者数」欄に記載の主な就職先

※ 海外の大学・機関である場合は、それが分かるように明示してください。

○○大学(アメリカ)、(独)△△研究所、(株)××・・・

「④ 一時的な仕事に就いた者」欄に記載の主な就職先

××研究所

「⑤ ①～④及び⑥以外」欄に記載の具体的な内訳

進学準備中(2人)

就職活動中(2人)

「⑥ 死亡・不詳」欄の事情、理由

※ 進路を把握できない特別な事情がある場合は記載してください。

本人が海外渡航中のため不詳(確認中)(1人)

学位取得後に帰国したため、その後の進路については不詳(確認中)(1人)

(8) 申請大学の教育研究実績・環境等 (特に国際的な実績)

※単に採択実績を示すだけではなく、大学がどのような教育研究上の国際競争力を持つかや、過去の事業等が大学の努力によりどのように補助期間終了後も継続され本申請に活かされているか、という観点で記載してください。共同申請を行う場合には、大学ごとにページを複製して作成してください。

大学名： 文部大学

①教育活動の実績 (申請大学の特筆すべき教育実績等)

○○○○…

項目の位置を最小限移動することにより、各項目の分量を調整して作成することが可能です。
※項目名 (括弧書きを含む) は削除しないでください。

②研究活動の実績 (申請大学の特筆すべき研究実績等)

○○○○…

③産官学等連携の実績 (申請大学の特筆すべき連携実績等)

○○○○…

(8) 申請大学の教育研究実績・環境等（特に国際的な実績）

※単に採択実績を示すだけではなく、大学がどのような教育研究上の国際競争力を持つかや、過去の事業等が大学の努力によりどのように補助期間終了後も継続され本申請に活かされているか、という観点で記載してください。共同申請を行う場合には、大学ごとにページを複製して作成してください。

大学名： 科学大学

①教育活動の実績（申請大学の特筆すべき教育実績等）

○○○○…

②研究活動の実績（申請大学の特筆すべき研究実績等）

○○○○…

③産官学等連携の実績（申請大学の特筆すべき連携実績等）

○○○○…

まとめて1ページで作成してください。
※連携先機関ごとに作成する必要はありません。

(9) 連携先機関の教育研究実績・環境等

※連携先機関の教育研究実績・環境等をどのように本申請に活用するかという観点で記載してください。

①教育活動の実績（連携先機関の特筆すべき教育実績等）

○○○○…

項目の位置を最小限移動することにより、各項目の分量を調整して作成することが可能です。
※項目名（括弧書きを含む）は削除しないでください。

②研究活動の実績（連携先機関の特筆すべき研究実績等）

○○○○…

③産官学等連携の実績（連携先機関の特筆すべき連携実績等）

○○○○…

(10) 学生の研究活動の状況

以下の①～③は「プログラムの基本情報」(様式1)の「8. 学生の所属する専攻等名」に記載した専攻等に係るデータを集計の上、記入してください。大学ごとにページを複製して作成してください。

発表数÷各区分の在籍者数
(小数点第2位を四捨五入)
様式3「(5) 経済的支援の現状」
との整合性に注意してください。

大学名: 文部大学 対象期間に注意してください。

①博士課程学生の学会発表、学術雑誌等への論文等発表数

注1:平成29年度(29年4月～30年3月の期間)について作成してください。
注2:学会発表数の()内にはうち国外かつ外国語で行われたものを記入してください。

課程区分	学会発表数	在籍者に対する割合	レフェリー付き論文発表数	在籍者に対する割合
博士課程前期	300回(100回)	0.6回/人(0.2回/人)	50件(30件)	0.1件/人(0.0件/人)
博士課程後期	400回(150回)	1.1回/人(0.4回/人)	100件(80件)	0.3件/人(0.2件/人)
博士課程(一貫制) ※H30.4新設				

対象となる専攻全てについて集計の上、修士課程、博士前期課程、博士後期課程、博士課程(4年制)、博士課程(一貫制)等、それぞれの区分ごとに記入してください。欄が不足する場合や余る場合は、適宜行を追加・削除してください。

②博士課程学生の主な発表論文

(平成27～29年度(27年4月～30年3月の期間)における、専攻に所属する学生の主な発表論文(論文名、著者名、学会誌名、巻(号)、最初と最後の頁、発表年(西暦)の各項目を必ず記入)を記入してください。ただし、印刷済及び採録決定済のものに限り、査読中・投稿中のものは除きます。)

○○○○…

対象期間に注意してください。

新設等で指定されている期間の新しい組織としてのデータ等がない場合は斜線を引いてください。一つの課程区分の中に新設等の専攻が含まれる場合には合計値に含めなくてかまいません。ただし、取組の実績として示すことが有効と判断した場合には、その旨付記の上、旧組織等のデータ等を集計に含めることも可能です。
旧組織の実績が改組後の実績と密接に関連しており、今後も同様の実績が予想される場合は、旧組織の実績を含めて構いませんが、新設や組織が改組によって大きく変更された場合は、旧組織の実績は含めないでください。

③研究費の獲得状況及び学会賞等各賞の受賞状況等

(平成27～29年度(27年4月～30年3月の期間)における、専攻に所属する学生が獲得した主な研究費(名称、期間、金額等)の獲得状況及び学会賞等(受賞名、受賞年等)の受賞状況について記入してください。また、当該専攻に所属する学生が在籍中に取得した特許や記載された新聞記事など、大学で特筆すべき研究成果と判断されるものがあれば、本欄に記入することが可能です。)

○○○○…

対象期間に注意してください。

項目の位置を最小限移動することにより、各項目の分量を調整して作成することが可能です。
※項目名、説明文は削除しないでください。

(10) 学生の研究活動の状況

以下の①～③は「プログラムの基本情報」(様式1)の「8. 学生の所属する専攻等名」に記載した専攻等に係るデータを集計の上、記入してください。大学ごとにページを複製して作成してください。

大学名： 科学大学

①博士課程学生の学会発表、学術雑誌等への論文等発表数

注1：平成29年度(29年4月～30年3月の期間)について作成してください。

注2：学会発表数の()内にはうち国外かつ外国語で行われたものを記入してください。

課程区分	学会発表数	在籍者に対する割合	レフェリー付き論文発表数	在籍者に対する割合
博士課程前期	100 回 (30 回)	0.6 回/人(0.2 回/人)	30 件 (25 件)	0.2 件/人(0.2 件/人)
博士課程後期	120 回 (80 回)	1.0 回/人(0.7 回/人)	100 件 (90 件)	0.8 件/人(0.8 件/人)

②博士課程学生の主な発表論文

(平成27～29年度(27年4月～30年3月の期間)における、専攻に所属する学生の主な発表論文(論文名、著者名、学会誌名、巻(号)、最初と最後の頁、発表年(西暦)の各項目を必ず記入)を記入してください。ただし、印刷済及び採録決定済のものに限り、査読中・投稿中のものは除きます。)

○○○○・・・

③研究費の獲得状況及び学会賞等各賞の受賞状況等

(平成27～29年度(27年4月～30年3月の期間)における、専攻に所属する学生が獲得した主な研究費(名称、期間、金額等)の獲得状況及び学会賞等(受賞名、受賞年等)の受賞状況について記入してください。また、当該専攻に所属する学生が在籍中に取得した特許や記載された新聞記事など、大学で特筆すべき研究成果と判断されるものがあれば、本欄に記入することが可能です。)

○○○○・・・

各項目のタイトル・説明文は改編不可（括弧書きも含め必ず残してください。）

様式 4

平成30年度

ヘッダー（様式4）は、各ページの右上に固定してください（改編不可）。

卓越大学院プログラム プログラム担当者調書

通し 番号	(フリガナ) 氏 名	機関名・所属(研究科・専攻等)・職名	学 位	現在の専門
1	(プログラム責任者) (モンブ ハナコ) 文部 花子	文部大学大学院 AAAA 研究科 AAAA 専攻・研究科長	AA 博士 (〇〇大学)	AA 科学
役割分担	事業総括			
コミット メント	博士課程教育の改革に向けた本プログラムの実施に当たっての関わり方や、各々の役割の中での力点などについて、本人が記入してください。 〇〇〇〇・・・			
	「プログラムの基本情報」（様式1）の「13. プログラム担当者一覧」（及び組織表）に記載した順に作成し、通し番号を付してください。（番号1はプログラム責任者、番号2はプログラムコーディネーターとしてください）。			
	様式4は、プログラム担当者全員分（共同実施機関及び連携先機関所属者を含む）について、1人につき1ページで作成してください。 同一ページ内において各項目の区分線を必要最小限移動して作成することが可能です。 「プログラムの基本情報」（様式1）の「13. プログラム担当者一覧」（及び組織表）各項目における記載との整合性に注意してください。			
	プログラム担当者が別のプログラムのプログラム担当者を兼任する場合には、兼任の理由と見込まれる効果についての説明を「コミットメント」欄に記載してください。			
職歴	〇〇〇〇・・・ 項目の位置を必要最小限移動することにより各項目の分量を調整して作成することが可能です。			
教育研究 実績・資源 (特に国 際的な実 績)	◆教育活動の実績（プログラム担当者の特筆すべき教育実績等） 〇〇〇〇・・・			
	◆研究活動の実績（プログラム担当者の特筆すべき研究実績等） 〇〇〇〇・・・ 既に発表した代表的な論文または著書があれば、この欄に記載してください（2件まで）。			
	◆社会活動の実績（プログラム担当者の特筆すべき社会活動実績等） 〇〇〇〇・・・ フッターは機関名、プログラム名称を、各ページの欄外下に固定して記入してください。			
エフォ ート 予定	平成30年度における、本プログラムに割り当てる時間・労力の割合（エフォート）の予定を記入 〇〇 割			

(機関名 :

プログラム名称 :

)

平成30年度

卓越大学院プログラム プログラム担当者調書

通し 番号	(フリガナ) 氏 名	機関名・所属(研究科・専攻等)・職名	学 位	現在の専門
2	(プログラムコーディネーター) (モンブ ジロウ) 文部 次郎	文部大学大学院 AAAA 研究科 AAAA 専攻・教授	AA 博士 (××大学)	AA 科学
役割分担	各個別プロジェクトの取りまとめ、運営委員会委員長			
コミット メント	博士課程教育の改革に向けた本プログラムの実施に当たっての関わり方や、各々の役割の中での力点などについて、本人が記入してください。 ○○○○・・・			
職歴	○○○○・・・			
教育研究 実績・資源 (特に国 際的な実 績)	<p>◆教育活動の実績(プログラム担当者の特筆すべき教育実績等) ○○○○・・・</p> <p>◆研究活動の実績(プログラム担当者の特筆すべき研究実績等) ○○○○・・・</p> <p>◆社会活動の実績(プログラム担当者の特筆すべき社会活動実績等) ○○○○・・・</p>			
エフオー ト予定	平成30年度における、本プログラムに割り当てる時間・労力の割合(エフォート)の予定を記入 ○○割			

(機関名 :

プログラム名称 :

)

平成30年度

卓越大学院プログラム プログラム担当者調書

通し 番号	(フリガナ) 氏 名	機関名・所属(研究科・専攻等)・職名	学 位	現在の専門
3	(モンブ サブロウ) 文部 三郎	文部大学大学院 AAAA 研究科 AAAA 専攻・教授	博士 (AA) (△△大学)	AA 科学
役割分担	○○プロジェクトリーダー			
コミット メント	博士課程教育の改革に向けた本プログラムの実施に当たっての関わり方や、各々の役割の中での力点などについて、 <u>本人が記入してください。</u> ○○○○・・・			
職歴	○○○○・・・			
教育研究 実績・資源 (特に国 際的な実 績)	<p>◆教育活動の実績(プログラム担当者の特筆すべき教育実績等) ○○○○・・・</p> <p>◆研究活動の実績(プログラム担当者の特筆すべき研究実績等) ○○○○・・・</p> <p>◆社会活動の実績(プログラム担当者の特筆すべき社会活動実績等) ○○○○・・・</p>			
エフオー ト予定	平成30年度における、本プログラムに割り当てる時間・労力の割合(エフォート)の予定を記入 ○○割			

(機関名:

プログラム名称:

)

平成30年度
卓越大学院プログラム 資金計画表

単位に注意してください。

単位：千円

機関名、プログラム名称を記入してください。記入内容に応じてテキストボックスの長さは調整可能ですが、向き、位置は変更しないでください。

(機関名：文部大学 プログラム名称：○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○)

事業年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度	平成35年度	平成36年度
補助金申請額							
間接経費							
学内外資源							
うち学内資源							
うち学外資源							
(参考) 学内外資源の主な用途と財源							
計							

「プログラムの基本情報」(様式1)の「11. 補助金申請額と間接経費の合計額」、「経費関係調書」(様式5-2)との整合性に注意してください

2年度目以降は初年度の補助金申請額を上限としてください。

「間接経費」欄には、「補助金申請額」の30%が自動入力されます。

7年度目には本事業からの補助金額が初年度補助金額の1/3に逡減することを踏まえて作成してください。

「学内外資源」欄には、「うち学内資源」、「うち学外資源」の合計額が自動入力されます。

初年度から一定の学内外資源の活用を資金計画に含めてください。
2年度目であれば、総事業費に対しておおむね20~30%と考えられます。

審査の参考として、学内外資源の財源及び主な用途の例を記載してください。

学内外資源の対補助金比率							
--------------	--	--	--	--	--	--	--

「学内外資源の対補助金比率」欄には、「学内外資源」÷(「補助金申請額」+「間接経費」)が自動入力されます。

・網掛け部分は自動計算のため、数値を入力しないでください。

4年度目に本事業からの補助金額と同程度以上の学内外資源を確保することを想定して作成してください。
(「学内外資源の対補助金比率」は100%以上になります。)

平成30年度

ヘッダー（様式5-2）は、各ページの右上に固定してください（改編不可）。

卓越大学院プログラム 経費関係調書

<平成30年度>

各年度1ページに収めてください。

年度の事業計画

※ 当該年度に本補助金を充当して実施する事業の具体的内容について記載

本補助金の適切かつ効果的な使用計画（各経費（物品費、人件費・謝金、旅費、その他）の使用目的、必要性等）について、具体的かつ明確、簡潔に記載してください。

○○○○・・・

各項目のタイトル・説明文は改編不可。括弧書きも含め必ず残してください。

様式5-2は、申請経費について、1年度につき1ページで作成してください。

同一ページ内において各項目の区分線を必要最小限移動して作成することが可能です。

各年度とも、「プログラムの基本情報」（様式1）の「11. 補助金申請額と間接経費の合計額」、「資金計画表」（様式5-1）に記載する金額との整合性に注意してください。

補助金申請額の明細

- ・申請できる経費は、本事業計画の遂行に必要な経費です。
- ・用途は卓越大学院プログラムの目的に限定されます。
- ・申請（基幹）大学で使用する経費と共同実施機関で使用する経費を区分して記載してください。
- ・平成30年度は平成30年10月～平成31年3月の6ヶ月分の必要経費を申請してください。

対象期間に注意してください。

〔記載例：研究打ち合わせ旅費 ○○人×@○○円 ○○千円
資料整理謝金 ○人×○日×@○○円 ○○千円〕

<平成30年度計画>	経費区分	金額（千円）		備考
		申請大学での 使用金額	共同実施機関での 使用金額	
	【物品費】	0	0	
	○○○○	○○○○	○○○○	
	○○○○	○○○○	○○○○	
	○○○○×@○○円	○○○○	○○○○	
	【人件費・謝金】	0	0	
	○○○○ ○人×@○○円×○月			
	○○○○ ○人×@○○円×○月			
	○○○○ ○人×@○○円			
	【旅費】			
	○○○○ ○人×@○○円			
	○○○○ ○人×@○○円			
	○○○○ ○人×@○○千円×○回	○○○○		
	【その他（教育研究支援経費）】	0	0	
	【その他（教育研究支援経費以外）】	0	0	
	○○○○	○○○○	○○○○	
	○○○○	○○○○	○○○○	
	○○○○	○○○○		
	○○○○	○○○○		
	機関名、プログラム名称を、各ページの欄外下に固定して記入してください。	○○		
(平成30年度)	合計	0	0	

行の高さや「年度の事業計画」欄を調整することで「経費区分」の行を増やすことが可能です。
※全体で1ページに収めてください。

(機関名：文部大学 プログラム名称：○○○○○○○○○○○○○○○○○○)

平成31年度

卓越大学院プログラム 経費関係調書

各年度1ページに収めてください。

<平成31年度>

年度の事業計画

※ 当該年度に本補助金を充当して実施する事業の具体的内容について記載

本補助金の適切かつ効果的な使用計画（各経費（物品費、人件費・謝金、旅費、その他）の使用目的、必要性等）について、具体的かつ明確、簡潔に記載してください。

○○○○・・・

補助金申請額の明細

- ・申請できる経費は、本事業計画の遂行に必要な経費です。
- ・用途は卓越大学院プログラムの目的に限定されます。
- ・申請（基幹）大学で使用する経費と共同実施機関で使用する経費を区分して記載してください。

〔 記載例：研究打ち合わせ旅費 ○○人×@○○円 ○○千円
資料整理謝金 ○人×○日×@○○円 ○○千円 〕

<平成31年度計画>	経費区分	金額（千円）		備考
		申請大学での 使用金額	共同実施機関での 使用金額	
	【物品費】	0	0	
	○○○○	○○○○	○○○○	
	○○○○	○○○○	○○○○	
	○○○○×@○○円	○○○○	○○○○	
	【人件費・謝金】	0	0	
	○○○○ ○人×@○○円×○月	○○○○		
	○○○○ ○人×@○○円×○月	○○○○		
	○○○○ ○人×@○○円×○時間×○回	○○○○		
	【旅費】	0	0	
	○○○○ ○人×@○○千円×○回	○○○○		
	○○○○ ○人×@○○千円×○回	○○○○		
	○○○○ ○人×@○○千円×○回	○○○○		
	【その他（教育研究支援経費）】	0	0	
	○○○○ ○人×@○○千円×○月	○○○○		
	【その他（教育研究支援経費以外）】	0	0	
	○○○○	○○○○	○○○○	
	○○○○	○○○○	○○○○	
	○○○○	○○○○		
	○○○○	○○○○		
	機関名、プログラム名称を、各ページの欄外下に固定して記入してください。	○○		
(平成31年度)	合 計	0	0	
			0	

（機関名：文部大学 プログラム名称：○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○）

平成32年度

卓越大学院プログラム 経費関係調書

<平成32年度>

各年度1ページに収めてください。

年度の事業計画

※ 当該年度に本補助金を充当して実施する事業の具体的内容について記載

本補助金の適切かつ効果的な使用計画（各経費（物品費、人件費・謝金、旅費、その他）の使用目的、必要性等）について、具体的かつ明確、簡潔に記載してください。

○○○○・・・

補助金申請額の明細

- ・申請できる経費は、本事業計画の遂行に必要な経費です。
- ・用途は卓越大学院プログラムの目的に限定されます。
- ・申請（基幹）大学で使用する経費と共同実施機関で使用する経費を区分して記載してください。

〔 記載例：研究打ち合わせ旅費 ○○人×@○○円 ○○千円
資料整理謝金 ○人×○日×@○○円 ○○千円 〕

<平成32年度計画>	経費区分	金額（千円）		備考
		申請大学での 使用金額	共同実施機関での 使用金額	
	【物品費】	0	0	
	○○○○	○○○○	○○○○	
	○○○○	○○○○	○○○○	
	○○○○×@○○円	○○○○	○○○○	
	【人件費・謝金】	0	0	
	○○○○ ○人×@○○円×○月	○○○○		
	○○○○ ○人×@○○円×○月	○○○○		
	○○○○ ○人×@○○円×○時間×○回	○○○○		
	【旅費】	0	0	
	○○○○ ○人×@○○千円×○回	○○○○		
	○○○○ ○人×@○○千円×○回	○○○○		
	○○○○ ○人×@○○千円×○回	○○○○		
	【その他（教育研究支援経費）】	0	0	
	○○○○ ○人×@○○千円×○月	○○○○		
	【その他（教育研究支援経費以外）】	0	0	
	○○○○	○○○○	○○○○	
	○○○○	○○○○	○○○○	
	○○○○	○○○○		
	○○○○	○○○○		
	機関名、プログラム名称を、各ページの欄外下に固定して記入してください。	○○		
(平成32年度)	合計	0	0	
			0	

（機関名：文部大学 プログラム名称：○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○）

平成33年度

卓越大学院プログラム 経費関係調書

<平成33年度>

各年度1ページに収めてください。

年度の事業計画

※ 当該年度に本補助金を充当して実施する事業の具体的内容について記載

本補助金の適切かつ効果的な使用計画（各経費（物品費、人件費・謝金、旅費、その他）の使用目的、必要性等）について、具体的かつ明確、簡潔に記載してください。

○○○○・・・

補助金申請額の明細

- ・申請できる経費は、本事業計画の遂行に必要な経費です。
- ・使途は卓越大学院プログラムの目的に限定されます。
- ・申請（基幹）大学で使用する経費と共同実施機関で使用する経費を区分して記載してください。

〔 記載例：研究打ち合わせ旅費 ○○人×@○○円 ○○千円
資料整理謝金 ○人×○日×@○○円 ○○千円 〕

<平成33年度計画>	経費区分	金額（千円）		備考
		申請大学での 使用金額	共同実施機関での 使用金額	
	【物品費】	0	0	
	○○○○	○○○○	○○○○	
	○○○○	○○○○	○○○○	
	○○○○×@○○円	○○○○	○○○○	
	【人件費・謝金】	0	0	
	○○○○ ○人×@○○円×○月	○○○○		
	○○○○ ○人×@○○円×○月	○○○○		
	○○○○ ○人×@○○円×○時間×○回	○○○○		
	【旅費】	0	0	
	○○○○ ○人×@○○千円×○回	○○○○		
	○○○○ ○人×@○○千円×○回	○○○○		
	○○○○ ○人×@○○千円×○回	○○○○		
	【その他（教育研究支援経費）】	0	0	
	○○○○ ○人×@○○千円×○月	○○○○		
	【その他（教育研究支援経費以外）】	0	0	
	○○○○	○○○○	○○○○	
	○○○○	○○○○	○○○○	
	○○○○	○○○○		
	○○○○	○○○○		
	機関名、プログラム名称を、各ページの欄外下に固定して記入してください。	○○		
(平成33年度)	合計	0	0	

(機関名：文部大学 プログラム名称：○○○○○○○○○○○○○○○○○○)

平成34年度

卓越大学院プログラム 経費関係調書

<平成34年度>

各年度1ページに収めてください。

年度の事業計画

※ 当該年度に本補助金を充当して実施する事業の具体的内容について記載

本補助金の適切かつ効果的な使用計画（各経費（物品費、人件費・謝金、旅費、その他）の使用目的、必要性等）について、具体的かつ明確、簡潔に記載してください。

○○○○・・・

補助金申請額の明細

- ・申請できる経費は、本事業計画の遂行に必要な経費です。
- ・用途は卓越大学院プログラムの目的に限定されます。
- ・申請（基幹）大学で使用する経費と共同実施機関で使用する経費を区分して記載してください。

〔 記載例：研究打ち合わせ旅費 ○○人×@○○円 ○○千円
資料整理謝金 ○人×○日×@○○円 ○○千円 〕

<平成34年度計画>	経費区分	金額（千円）		備考
		申請大学での 使用金額	共同実施機関での 使用金額	
	【物品費】	0	0	
	○○○○	○○○○	○○○○	
	○○○○	○○○○	○○○○	
	○○○○×@○○円	○○○○	○○○○	
	【人件費・謝金】	0	0	
	○○○○ ○人×@○○円×○月	○○○○		
	○○○○ ○人×@○○円×○月	○○○○		
	○○○○ ○人×@○○円×○時間×○回	○○○○		
	【旅費】	0	0	
	○○○○ ○人×@○○千円×○回	○○○○		
	○○○○ ○人×@○○千円×○回	○○○○		
	○○○○ ○人×@○○千円×○回	○○○○		
	【その他（教育研究支援経費）】	0	0	
	○○○○ ○人×@○○千円×○月	○○○○		
	【その他（教育研究支援経費以外）】	0	0	
	○○○○	○○○○	○○○○	
	○○○○	○○○○	○○○○	
	○○○○	○○○○		
	○○○○	○○○○		
	機関名、プログラム名称を、各ページの欄外下に固定して記入してください。	○○		
(平成34年度)	合計	0	0	

(機関名：文部大学 プログラム名称：○○○○○○○○○○○○○○○○○○)

平成35年度

卓越大学院プログラム 経費関係調書

各年度1ページに収めてください。

<平成35年度>

年度の事業計画

※ 当該年度に本補助金を充当して実施する事業の具体的内容について記載

本補助金の適切かつ効果的な使用計画（各経費（物品費、人件費・謝金、旅費、その他）の使用目的、必要性等）について、具体的かつ明確、簡潔に記載してください。

○○○○・・・

補助金申請額の明細

- ・申請できる経費は、本事業計画の遂行に必要な経費です。
- ・使途は卓越大学院プログラムの目的に限定されます。
- ・申請（基幹）大学で使用する経費と共同実施機関で使用する経費を区分して記載してください。

〔 記載例：研究打ち合わせ旅費 ○○人×@○○円 ○○千円
資料整理謝金 ○人×○日×@○○円 ○○千円 〕

<平成35年度計画>	経費区分	金額（千円）		備考
		申請大学での 使用金額	共同実施機関での 使用金額	
	【物品費】	0	0	
	○○○○	○○○○	○○○○	
	○○○○	○○○○	○○○○	
	○○○○×@○○円	○○○○	○○○○	
	【人件費・謝金】	0	0	
	○○○○ ○人×@○○円×○月	○○○○		
	○○○○ ○人×@○○円×○月	○○○○		
	○○○○ ○人×@○○円×○時間×○回	○○○○		
	【旅費】	0	0	
	○○○○ ○人×@○○千円×○回	○○○○		
	○○○○ ○人×@○○千円×○回	○○○○		
	○○○○ ○人×@○○千円×○回	○○○○		
	【その他（教育研究支援経費）】	0	0	
	○○○○ ○人×@○○千円×○月	○○○○		
	【その他（教育研究支援経費以外）】	0	0	
	○○○○	○○○○	○○○○	
	○○○○	○○○○	○○○○	
	○○○○	○○○○		
	○○○○	○○○○		
	機関名、プログラム名称を、各ページの欄外下に固定して記入してください。	○○		
(平成35年度)	合 計	0	0	
			0	

（機関名：文部大学 プログラム名称：○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○）

平成36年度

卓越大学院プログラム 経費関係調書

<平成36年度>

各年度1ページに収めてください。

年度の事業計画

※ 当該年度に本補助金を充当して実施する事業の具体的内容について記載

本補助金の適切かつ効果的な使用計画（各経費（物品費、人件費・謝金、旅費、その他）の使用目的、必要性等）について、具体的かつ明確、簡潔に記載してください。

○○○○・・・

補助金申請額の明細

- ・申請できる経費は、本事業計画の遂行に必要な経費です。
- ・用途は卓越大学院プログラムの目的に限定されます。
- ・申請（基幹）大学で使用する経費と共同実施機関で使用する経費を区分して記載してください。

〔 記載例：研究打ち合わせ旅費 ○○人×@○○円 ○○千円
資料整理謝金 ○人×○日×@○○円 ○○千円 〕

<平成36年度計画>	経費区分	金額（千円）		備考
		申請大学での 使用金額	共同実施機関での 使用金額	
	【物品費】	0	0	
	○○○○	○○○○	○○○○	
	○○○○	○○○○	○○○○	
	○○○○×@○○円	○○○○	○○○○	
	【人件費・謝金】	0	0	
	○○○○ ○人×@○○円×○月	○○○○		
	○○○○ ○人×@○○円×○月	○○○○		
	○○○○ ○人×@○○円×○時間×○回	○○○○		
	【旅費】	0	0	
	○○○○ ○人×@○○千円×○回	○○○○		
	○○○○ ○人×@○○千円×○回	○○○○		
	○○○○ ○人×@○○千円×○回	○○○○		
	【その他（教育研究支援経費）】	0	0	
	○○○○ ○人×@○○千円×○月	○○○○		
	【その他（教育研究支援経費以外）】	0	0	
	○○○○	○○○○	○○○○	
	○○○○	○○○○	○○○○	
	○○○○	○○○○		
	○○○○	○○○○		
		○○		
(平成36年度)	合計	0	0	
			0	

機関名、プログラム名称を、各ページの欄外下に固定して記入してください。

(機関名：文部大学 プログラム名称：○○○○○○○○○○○○○○○○○○)

平成30年度卓越大学院プログラム
申請資格の確認

大学ごとに作成・2ページ以内（枠内に記入）

大学名 文部大学

○申請資格の確認について

下表 i) ~ vii) のいずれかに該当する大学は、本プログラムに申請できません。（連携して事業を行う機関も対象）。

i) ~ vii) について、各確認欄に「該当しない」を記入してください。

また、iv)、v) に関連することとして、表1及び表2をそれぞれ記入してください。

i) ~ vii) の各申請資格の確認項目について、該当しない場合は、「該当しない」と記入してください。下表 i) ~ vii) のいずれかに該当する大学は、本プログラムに申請できず、共同申請の構成大学や連携先機関になることもできません。

	番号	確認項目	確認欄
組織運営関係	i)	学生募集停止中の大学	該当しない
	ii)	学校教育法第109条の規定に基づき文部科学大臣の認証を受けた者による直近の評価の結果、「不適合」の判定を受けている大学	
	iii)	「私立大学等経常費補助金」において定員の充足状況に係る基準以外の事由により、前年度に不交付又は減額の措置を受けた大学	
	iv)	平成29年度に実施した「大学教育再生戦略推進費」（再推費）におけるプログラムの事後評価において、「事業目的が達成できなかった」等の最も低い評価を受けた大学 (対象プログラムは表1のとおり。)	
	v)	平成29年度に実施した再推費におけるプログラムの中間評価で、「中止することが必要」等の最も低い評価を受けた大学 (対象プログラムは表2のとおり。)	
設置関係	vi)	設置計画履行状況等調査において、「警告」が付されている大学	
	vii)	大学、大学院、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準（平成15年文部科学省告示第45号）第1条第3号の要件を満たしていない大学又は第2条第1号若しくは第2号のいずれかに該当する者が設置する大学	

フッターは機関名、プログラム名称を、各ページの欄外下に固定して記入してください。

「表1」「表2」で示す対象プログラムにおいて、評価の実施された事業の有無を記入してください。また、実施「有」とした場合は、実施件数を記入の上、評価の実施された事業名及びその評価結果を記入してください。

評価の実施された事業がある場合は「有」、無い場合は「無」と記入してください。

実施「有」とした場合のみ記入してください。評価の実施された事業件数を記入の上、評価の実施された事業名及びその評価結果を記入してください。

表1：平成29年度に実施した事後評価の結果、申請できない条件の対象となるプログラム

事業名	実施有無※1	実施件数	評価の実施された事業名※2	事後評価結果
博士課程教育リーディングプログラム（平成23年度採択）	無			
大学の世界展開力強化事業（平成24年度採択）				
大学間連携共同教育推進事業（平成24年度採択）				
がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン（平成24年度採択）				
成長分野を支える情報技術人材の育成拠点の形成（enPiT）（平成24年度採択）				
経済社会の発展を牽引するグローバル人材育成支援（平成24年度採択）				

表2：中間評価の結果、申請できない条件の対象となるプログラム

事業名	実施有無※1	実施件数	評価の実施された事業名※2	中間評価結果
スーパーグローバル大学創成支援（平成26年度採択）				
課題解決型高度医療人材養成プログラム（平成26年度採択）				
大学教育再生加速プログラム（AP）「高大接続改革推進事業」（平成26、27、28年度採択）				
大学の世界展開力強化事業（中南米等との大学間交流形成支援）（平成27年度採択）	有	2	○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○	A
			○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○	A
地（知）の拠点大学による地方創生推進事業（COC+）（平成27年度採択）				

1つのプログラムにおいて、複数の事業で評価が実施されている場合は、記入欄を上下に分割して、該当する全ての事業名及びその評価結果を記入してください。

※1 申請大学として参加している事業は実施「有」、連携校として参加している事業は実施「無」として記入してください。
 ※2 各プログラムにおいて使用されている「構想名」「プログラム名称」「取組名」等、該当する事業を識別できる名称を記入してください。なお、事業名に相当するものがない場合は、「大学名」を記入してください。

平成30年度卓越大学院プログラム
申請資格の確認

大学ごとに作成・2ページ以内（枠内に記入）

大学名 科学大学

○申請資格の確認について

下表 i) ~ vii) のいずれかに該当する大学は、本プログラムに申請できません。（連携して事業を行う機関も対象）。

i) ~ vii) について、各確認欄に「該当しない」を記入してください。

また、iv)、v) に関連することとして、表1及び表2をそれぞれ記入してください。

	番号	確認項目	確認欄
組織 運 営 関 係	i)	学生募集停止中の大学	
	ii)	学校教育法第109条の規定に基づき文部科学大臣の認証を受けた者による直近の評価の結果、「不適合」の判定を受けている大学	
	iii)	「私立大学等経常費補助金」において定員の充足状況に係る基準以外の事由により、前年度に不交付又は減額の措置を受けた大学	
	iv)	平成29年度に実施した再推費におけるプログラムの事後評価において、「事業目的が達成できなかった」等の最も低い評価を受けた大学 (対象プログラムは表1のとおり。)	
	v)	平成29年度に実施した再推費におけるプログラムの中間評価で、「中止することが必要」等の最も低い評価を受けた大学 (対象プログラムは表2のとおり。)	
設 置 関 係	vi)	設置計画履行状況等調査において、「警告」が付されている大学	
	vii)	大学、大学院、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準（平成15年文部科学省告示第45号）第1条第3号の要件を満たしていない大学又は第2条第1号若しくは第2号のいずれかに該当する者が設置する大学	

「表1」「表2」で示す対象プログラムにおいて、評価の実施された事業の有無を記入してください。また、実施「有」とした場合は、実施件数を記入の上、評価の実施された事業名及びその評価結果を記入してください。

表1：平成29年度に実施した事後評価の結果、申請できない条件の対象となるプログラム

事業名	実施有無 ※1	実施件数	評価の実施された事業名※2	事後評価結果
博士課程教育リーディングプログラム（平成23年度採択）				
大学の世界展開力強化事業（ASEAN諸国等との大学間交流形成支援）（平成24年度採択）				
大学間連携共同教育推進事業（平成24年度採択）				
がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン（平成24年度採択）				
成長分野を支える情報技術人材の育成拠点の形成（enPiT）（平成24年度採択）				
経済社会の発展を牽引するグローバル人材育成支援（平成24年度採択）				

表2：平成29年度に実施した中間評価の結果、申請できない条件の対象となるプログラム

事業名	実施有無 ※1	実施件数	評価の実施された事業名※2	中間評価結果
スーパーグローバル大学創成支援（平成26年度採択）				
課題解決型高度医療人材養成プログラム（平成26年度採択）				
大学教育再生加速プログラム（AP）「高大接続改革推進事業」（平成26、27、28年度採択）				
大学の世界展開力強化事業（中南米等との大学間交流形成支援）（平成27年度採択）				
地（知）の拠点大学による地方創生推進事業（COC+）（平成27年度採択）				

※1 申請大学として参加している事業は実施「有」、連携校として参加している事業は実施「無」として記入してください。

※2 各プログラムにおいて使用されている「構想名」「プログラム名称」「取組名」等、該当する事業を識別できる名称を記入してください。なお、事業名に相当するものがない場合は、「大学名」を記入してください。